

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和8年7月11日(土)		
事業名	ちばアカデミア講座 1		
趣 旨	県内外の国立研究機関・大学・文化施設・各種団体等と連携し、県民に最先端科学技術・経済・文化・教育・環境・健康・安全・食生活等の情報を提供することで、県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。		
会 場	さわやかちば県民プラザ 大研修室		
対 象	どなたでも		
申込方法	来所、電話または Web 申込		
募集定員	各60名	募集期間	令和8年4月24日から令和8年7月4日
参加者数	84名 対面36名、オンライン18名 サテライト 30名 ※サテライト会場4箇所	参加費用	無料
講師 等	国立環境研究所 気候変動適応センター センター長 肱岡 靖明 氏		
実施内容	内容:「気候変動への適応について～最先端の科学に基づく適応の理解～」 日程:午後1時55分～午後2時 オリエンテーション 午後2時～午後3時35分 講演(休憩10分含) 午後3時35分～午後3時50分 アンケート記入、閉演  肱岡講師  会場の様子 ※サテライト会場(4施設)・・・ 旭市民会館、君津市生涯学習交流センター、 千葉市小中台公民館、打瀬公民館		
参加者アンケート	【満足度96%】 ○気候変動適応の概念が理解できた。(具体例を含め)考え方を大いに参考にしたい。 ○いろいろなリスクの変化を予測しながら、それらに対して平時から考え、準備していくことが必要との認識を新たにできました。温暖化に対してはできることからやっていこうと思います。 ○専門的な調査分析に基づく知見を直接的かつ具体的に生かすことが様々な制約により難しく、できることは人々の意識を高めることであると話されていたように思ったが、		

	極めて現実的であるとともに専門家の苦悩であるように感じた。 ○気候変動について科学的なエビデンスのある学びをすることができ、自分自身の環境問題の視野を広げることができました。ありがとうございました。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨である「県民の生涯学習の機会と現代的課題の解決に寄与する。」については、「気候変動への適応」をテーマに、地球温暖化等の気候変動とそれについての適応策や対策について講演いただいた。海外諸国や企業の具体的な取り組み事例をお話いただいたことで、受講者が温暖化対策や不確実な状況にも柔軟に対応していくことの重要性を認識することに寄与した。 ・オンライン、サテライト配信からの質問については、Zoom のチャット欄を活用し、講師に回答いただけるよう配慮した。 【課題・今後の方向性】 ・講師資料のデータ容量が大きかったため、オンライン受講者に5回に分けて資料を送付した。今後は講師との連絡を密にし、資料のデータ容量を事前に調整していく必要がある。 ・会場からの質問をマイクを介さずに行ったため、サテライト会場に音声が届かない場面があった。再発防止に努めたい。 ・オリエンテーションは13時55分から開始したが、チラシや開催要項には14時開始と記載していたため、次回からはオリエンテーションも14時開始とする。